

広報 **710**

5

平成16年 NO.592



**お気軽にどうぞ
わかとり作業所日野分場へ**

特集 わかとり作業所日野分場



明るい笑い声と笑顔があふれる「わかとり作業所日野分場」
身体や知的な障害のある方々が通って仕事をする場所が、日野
郡内に初めて開設されました。

利用者の自立支援を目指し、障害を持つ人たちの受け皿として
期待されている「社会就労センターわかとり作業所日野分場」を
紹介します。

【特集】 社会就労センター わかとり作業所日野分場

地域に根ざした 分場を目指す



旧伯耆農業共済組合日野支所に作業所を開所

利用者の自立支援を 目指し開所

わかとり作業所日野分場（以下日野分場）は、身体や知的な障害のある方に自立と自己実現を支援するために開設された作業所で、利用者の方が自宅などから通って仕事をする所です。

場所は、旧伯耆農業共済組合日野支所（出雲街道根宿一番館前）の事務所を使い、4月10日に開所されました。

日野郡内で初めての 知的障害者授産施設

日野分場は、社会福祉法人・祥和会（景山峻吾理事長）が運営。西伯町に本所、大山

町（総合福祉センター内）と会見町（フラワーセンター内事務所）に分場があります。日野郡内から通う方がいるため「郡内に分場を開設してほしい」という家族会の強い要望で、日野町に郡内では初めての知的障害者授産施設（通所）が開設されました。

個性や心の温かさが 伝わってくる

利用者の定員は10人で、現在は利用者4人、サポーター（支援員）3人でスタート。商品などを作り販売しています。仕事内容は、利用者の自主性にまかせ、一人ひとりに合わせた内容になっています。商品は、ひと針ひと針、心を込めて作る刺し子巾着など



心を込めて作品を作り上げる



機織り機の使い方の指導を受ける



作業所には、かわいらしい作品がずらりと並ぶ

の手芸品をはじめ、はしセツト、プランターカバーなど木工品も作って販売しています。

また、機織り機を使いコースターなどの織物も作っています。

出来上がった作品は、利用者の方々が心を込めて一つひとつついでいに手作りし、大量生産にはない個性や心の温かさが伝わってきます。

今後は、地域性を生かしながらたくさんの商品を作成、販売出来るよう取り組んでいきます。

地域に根ざした

日野分場を目指す

地域に受け入れられ、親しまれる分場を目指し、地域に

根ざしたさまざまな活動を計画。毎月1回、分場周辺地域を清掃するボランティア活動や積極的に町の催しに参加するようにしています。

5月10日には、チャレンジショップ出雲街道根宿一番館と初めての合同催し「根宿一番館&日野分場合同祭り」を開きました（詳しくは5ページで紹介します）。

手作り味噌など

商品の注文販売も

日野分場では、本所やほかの施設で作られた、納豆や無添加で国産原料を使った手作り味噌、こんにゃく、食パン、米、ケーキ、クッキーなどの食品やプランターカバーなどの木工品の注文販売もしています。



それぞれが自主性を持って仕事に取り組む



サポーターといっしょに注文の品を届ける

商品の配達には、サポーターと利用者が車で、毎週木曜日に注文先に届けています。現在は、郡内の事業所や個人を対象に注文を取り、約50か所から注文があるほどの盛況ぶりです。



笑顔で手渡し、積極的に地域へ

障害を持つ人たちの受け皿として

この分場の開設は、多くの人の要望により実現しました。日野郡障害児者支援ネット「ひまわりの会」の世話人でもあり、日野分場のサポーターでもある川上由紀美さんは「知的障害を持つ子どもたちが、自宅から通えるということ、本人や親にとって、地域に受け皿（働く場所）があるということ、障害を持つ子どもたちにとって将来の目標や希望にもなります。この作業所が開設されるのが夢でした。今後に期待しています」と障害も持つ親の気持ちとを切実に話していました。

利用者も自分自身に変化

日野分場に通う利用者は「近くに分場が出来て、通うのが楽になりました」と開設を喜んでいきます。仕事を通して「自分が作ったものが売れる」と実感はわき、自分に自信が持てるようになりました。やりがいがあります」と毎日が生きていきしていると話しています。

また、分場のことについても「この分場はとてもなかなか雰囲気大好きです。積極的にいろいろなことに挑戦していきたいです」ともっと地域に出かけて分場を紹介していきたいです」となどと抱負を笑顔で話してくれました。

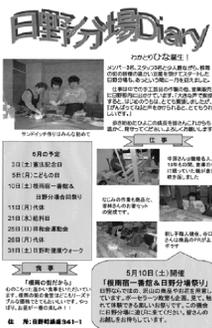


分からないことは、サポーターがしっかり支援

作業所の生活を通して「前の自分より明るくなった」と自分自身の変化も打ち明けてくれました。

まずは情報発信を

4月10日に開設され、一か月が過ぎました。ほかの町にある分場より人通りも多く、交通の便も良い場所にあるのに、仕事内容など知られていないことがたくさんあり、いかに情報発信していくかが課題になっていきます。地域の人々が気軽に寄っていただけよう、仕事の内容や作業風景、催しを紹介した「日野分場Diary」を毎月発行し、注文先などに配っています。



チラシを配り情報発信

気軽に来てください 見学は自由です

日野分場の開所時間は、午前8時30分から午後5時30分で、興味のある方は、自由に

利用者も積極的に地域にかけ「人と接する機会が増えました。初めは緊張していましたが今では慣れました。毎週商品を届けるのが楽しみです」と笑顔で話していました。

この分場は、施設ではなく「働く場所」として、利用者が気軽に通える温かい場所にしていきたいです。地域の皆さんが気軽に来ていただける分場を目指し、積極的に情報の発信や地域の催しに参加していきたいです。



主任サポーター 東千春さん

今後は、お客さんの要望にこたえられるような商品が作れるような販売にも力を入れていきたいです。

和紙の持つ風情を自分の指先でちぎり 作ることの喜びを感じる

平野流和紙ちぎり絵 平野滋子さん



刃物などは使わない。自分の手先で和紙をさばく

和紙の匠

たくみ



ひらのしほこ
平野滋子さん(根雨)

全国各地で教室などを開き、ちぎり絵の制作、普及に取り組んでいる。平野流和紙ちぎり絵の師範講師。

四季の美しさに心引かれながら思いのまま題材を描き、和紙でひとつの立体的な作品を生むちぎり絵。和紙の匠、平野流和紙ちぎり絵 平野滋子さんを紹介します。

和紙が作り上げる

芸術「ちぎり絵」

ちぎり絵は、和紙の持つ風情を自分の指先でちぎり、のりをつけて表現台となる色紙や短冊などに貼りつけていく手法で、和紙が作り上げる芸術品です。

画題は、移り行く四季の山野の美しい景色、草花、動物、人物、陶器などさまざままで「きれいなものはきれいと感じられる心が大切です」と滋子さんは言われます。

立体的な重ね貼り

平野流の特徴

平野流ちぎり絵は、家元の故平野富美江さんが試行錯誤の末にたどりついた立体的なちぎり絵。和紙独特の持ち味を生かし、刃物などは使わず自分の手先の微妙なさばきで

色鮮やかな和紙をちぎって貼りつける。実物の画題を忠実に表現するため「重ね貼り」をして立体的に表現。どの技法も家元が研究に研究を重ね工夫されました。

画題の形、どこにどんな色が使われているのか。実物に最も近い和紙の色を使う。実物を実物どおりに表現するのが平野流和紙ちぎり絵です。

一つひとつを

忠実に表現する

作品の一つ「アジサイ」にしても花びら一枚一枚、色の濃淡を変えたり、輪郭を毛羽立たせて色調を柔らかく表現。また、葉の色も花より下にはやや濃いもの、上になるほど薄色の紙を使い遠近感を出す。葉脈は繊維のある雲竜紙から繊維だけ取り出して使い、美しい葉に仕上げられています。

次のページに続く



画題のイメージに合った和紙を選び貼りつける

**作品展を見て
感動したのが出会い**

滋子さんが、平野流和紙ちぎり絵と出会ったのは約38年前。群馬県高崎市内のデパートで、平野流和紙ちぎり絵の作品展を見て「和紙で立体的に表現してある作品を初めて見た」とその迫力に圧倒され、

感動したのがきっかけ。

東京の大手町でちぎり絵教室が開かれていると聞き「やりたいことが見つかった」とすぐに通い始められました。その教室には、家元が毎月1回、指導されていました。滋子さんは、8年間通い続けその後、縁あって日野町の家元、平野家に嫁ぎました。



ちぎり絵の画題はたくさん。草花、玩具、美人画、魚などさまざまな

**つきない画題
楽しく作りたい**

今では、平野流和紙ちぎり絵の看板を滋子さんが受け継ぎ、制作、普及活動に励んでいます。

滋子さんは家元から「ちぎり絵は、楽しく作るものと教えられました」と今でもその教えを忘れることはなく、楽しく教室を開いています。

「同じ画題でも、二度と同じ作品はできない。そこがまたおもしろく、難しい」とちぎりの奥の深さを話されます。



各種類の和紙を組み合わせ立体的に表現

また、今まで数え切れないほどの作品を作り上げても「画題がつきることはありません。これからも作り続けます」創作品など新しい分野の作品を作ってみよう。日々挑



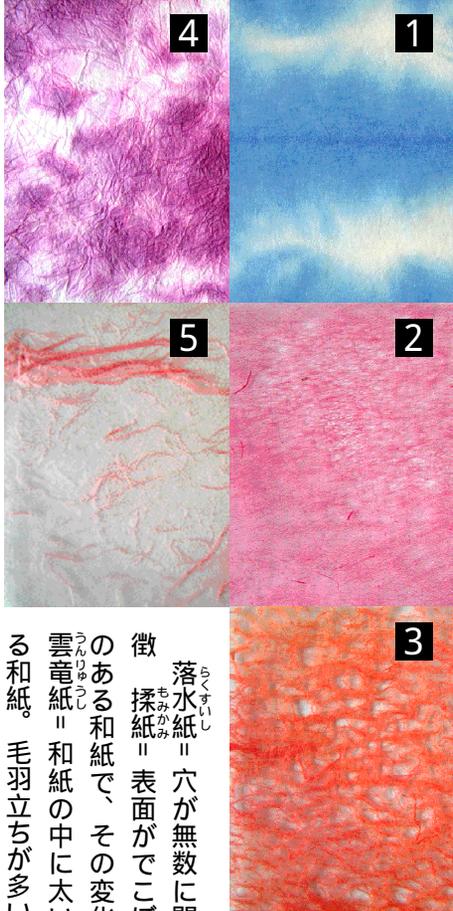
故平野富美江さん作



作品名「アネモネ」

平野滋子さん作

ちぎり絵に使われる
和紙の種類を一部紹介



落すし 落水紙 〓 穴が無数に開いているのが特徴
もみかみ 揉紙 〓 表面がでこぼこしている変化
うんりゅうし 雲竜紙 〓 和紙の中に太い繊維が入っている和紙。毛羽立ちが多いのが特徴

いただめし 板縮紙 〓 ちぎりやすく、濃淡、立体感を表すのに最適 極薄紙 〓 透かして見えるほど薄い和紙

戦っていききたいです」と抱負も語ってくれました。
一つの作品を作り上げるにも、どのような厚さの紙が最も適しているのか、どの色が実物に近いのかなどとても研究熱心。イメージに合う和紙がなければ、和紙屋に相談し、特別な色を作ってもらうなどこだわりの見せています。

人と人との

出会いを大切に

滋子さんは、鳥取県内はもとより東京、名古屋、大阪、広島、岡山、九州など全国各地の教室で指導しています。
「人と人との出会いを大切にしたい。教室で生徒さんと会うのが楽しみ」と声がかか

ればどこにでも行ってしまおうです。
老人ホームなどの施設でちぎり絵教室を開くと、お年寄りや体の不自由な方が、目を輝かせちぎり絵に夢中になる。ちぎり絵が、手だけでなく心のリハビリにもなっています。「これをしてしていると嫌なことを忘れられる」ちぎり絵に没頭して、時間が流れるのを忘れる」と生徒の声と笑顔を思い出すと移動時間も苦にならないと言われます。
多くの人に
楽しみを伝えたい
今後は「地元で家元の遺作展を開き、地域の人に作品を紹介したい」ちぎり絵という

ものを多くの人に知ってもらいたい和紙に親しんでもらいたい。暮らしのゆとりのきつかけになれば」と話されました。

平野滋子さんを講師に迎え、ちぎり絵教室が開かれます。

【とき】

6月2日(月)

午前10時から12時まで

【ところ】

根雨宿一番館

【材料代】

1000円

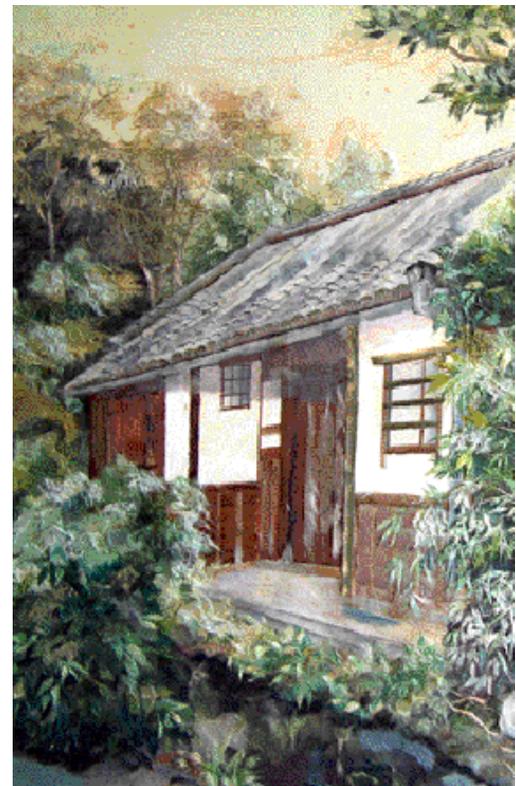
【申し込み期限】

5月26日(月)まで

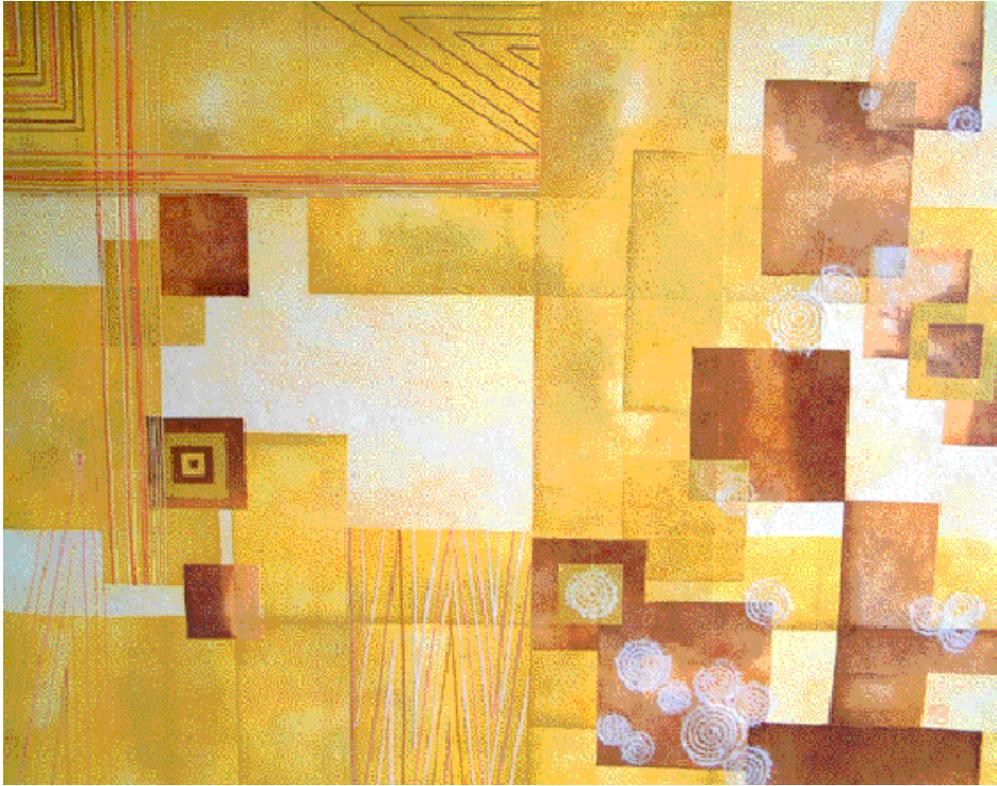
【申し込み・問い合わせ先】

根雨宿一番館またはまちづ

くり日野(電話72 0280)



作品名「住みなれた家」



作品名「創造」 平野滋子さん作

町議会議員一般選挙

新人1を含む12人が決まる

投票率は87.65%

当選者の皆さん

左上からアイウエオ順、敬称略、回数は当選回数
【任期 = 平成 15 年 5 月 20 日 ~ 平成 19 年 5 月 19 日】



安達 幸博
根雨 (50 歳)
商業・3 回



生田 正明
根雨 (71 歳)
無職・3 回



石田 幹暢
下榎 (66 歳)
農業・6 回



小谷 博徳
上菅 (60 歳)
農業・1 回



佐々木周子
根雨 (68 歳)
写真業・4 回



佐々木秀明
舟場 (51 歳)
農林業・5 回



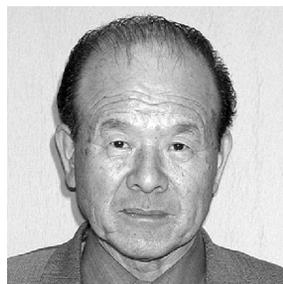
佐々木求
高尾 (51 歳)
団体役員・3 回



竹永 明文
安原 (48 歳)
商業・4 回



富谷 進
根雨 (71 歳)
無職・3 回



中原 明
黒坂 (67 歳)
会社員・3 回



宮田 和也
本郷 (64 歳)
農業・2 回



若林 尚允
根雨 (67 歳)
無職・2 回

4月27日、日野町議会議員一般選挙（任期満了による）で、新しい議員が誕生しました。
選挙は、定員12人に対し、立候補者が新人1人、元職1人を含む13人が立候補。選挙の結果、新人1人を含む12人が当選となりました。
有権者数は3758人。当日の投票者数は3294人で投票率は87.65%でした。選挙結果は表のとおりです。

町議会議員一般選挙結果

有権者数 3,758 人
投票総数 3,294 人
有効投票 3,267 票
無効投票 27 票
投票率 87.65%

敬称略、得票数順

当 490 票 小谷 博徳
当 419 票 中原 明
当 307 票 安達 幸博
当 305 票 佐々木周子
当 275 票 竹永 明文
当 232 票 佐々木秀明
当 225 票 石田 幹暢
当 198 票 富谷 進
当 197 票 若林 尚允
当 196 票 生田 正明
当 171 票 宮田 和也
当 131 票 佐々木 求
次 119 票 音田 宏

按分票の小数点以下は切り捨て

出したごみは責任を持って

ポイ捨て・不当投棄は禁止

みんなが捨てているから私も。ごみのポイ捨て、不法投棄により、美しい自然が汚されています。

きれいな町を目指し、みんなで環境について考えてみましょう。

ポイ捨て禁止

環境美化を推進

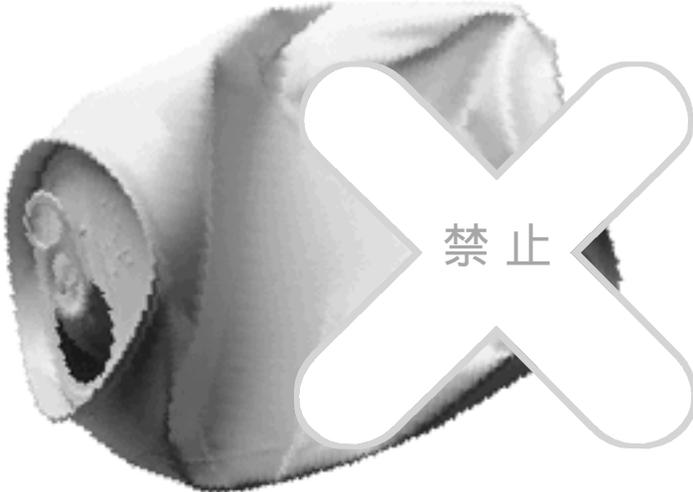
鳥取県では、環境美化を推進するため、平成9年6月に「鳥取県環境美化の促進に関する条例」を制定。計画的に環境美化を進める必要がある地区を「環境美化促進地区」として指定しています。

日野町では、滝山公園地区が指定され、環境美化指導員が毎月8回定期的に巡回し、空き缶などの散乱状況やごみ容器などの管理状況を県に報告しています。

美化指導員には、恩田孝雄さん（黒坂）が県知事から委嘱を受け、地域を巡回指導しています。

自分で出した空き缶などのごみは、持ち帰りましょう。

鳥取県では、空き缶やたばこのポイ捨てを禁止しています。



鳥取県環境美化の

促進に関する条例

一部を抜粋して紹介します。

県民などの責務

県民などは、自ら屋外で出した空き缶などを持ち帰らなければならない。

県又は市町村が実施する空き缶などの散乱防止、清掃その他の環境美化の促進に関する施策に協力しなければならない。

投棄の禁止

県民などは、みだりに空き缶などを捨ててはならない。

罰則

指定区域内において違反した人は、2万円以下の罰金に処する。

増加する

廃棄物の不法投棄

郡内の農道、林道脇などに廃棄物を不法投棄する行為が跡を絶たず、この対策が、快適な生活環境を確保する上で、とても重要な課題となっています。

県では未然防止、適切な措置をするため、不法投棄の監視などを行う産業廃棄物不法投棄監視員を各市町村ごとに設置しています。

日野町では、奥田修さん（下榎）が県知事から委嘱を受けて町内を巡回し、不法投棄に関する情報収集などを行っています。

町内では、企業活動で排出

される「産業廃棄物」のほか、

家庭からの「一般廃棄物」の不法投棄が急増。一昨年から施行された家電リサイクル法による家電製品の不法投棄も増加しています。

不法投棄には、罰則があり、5年以下の懲役又は1000万円以下の罰金に処せられるなど、反社会的行為という位置づけが強化されています。

不法投棄に関する

問い合わせ先

不法投棄に関する問い合わせは、日野総合事務所福祉保健局（電話72 2039）または役場地域整備課（電話72 2101）へ

私たちが巡回しています

指導員・監視員を紹介



環境美化指導員

恩田孝雄さん（黒坂）



産業廃棄物不法投棄監視員

奥田 修さん（下榎）



ゴール前の難関、激流に挑む選手

日野川の激流に挑む

第20回鳥取県カヌー選手権大会

日野川の激流に挑むカヌー競技大会、第20回鳥取県カヌー選手権大会が、4月20日、日野川カヌーコース（下榎・安原）で開かれました。

大会には、高知県など県内外から52人が参加。規制された16のゲートを通り抜けるスラロームと約1・5キロの距離をこぎ下るワイルドウォーターの2種目があり、選手は、

そのタイムを競い合いました。当日の日野川は、雨で水量が増し、白泡を立てながら荒々しく流れ、選手を苦しめていました。

参加した選手は「このコースは起伏が激しくおもしろい。とてもいい場所ですね」と話していました。大会には地元日野高校から小谷健人さん、桑原駿介さん

が初めてスラロームに参加。2人とも2回目には進めませんでした。が「次は完走したい。がんばって練習します」と次回の大大会出場に意欲を見せていました。

大会当日は、上口婦人会（川上礼子代表）による豚汁サービスもあり「体が温まるととてもおいしい」と選手たちには好評でした。



雨天の中、大会を支える役員ら



カヌーを巧みに操りゲートを通す



歯を食いしばりながらカヌーをこぎ続けるワイルドウォーターの参加選手



大好評の上口婦人会による豚汁サービス

大会記録（鳥取県選手のみ）

スラローム

K 1 3位 真島祐二さん

（米子CC）

ワイルドウォーター

K 1 優勝 都田祐道さん

（米子CC） 3位 児山隆史

さん（米子CC）

FK 1 優勝 福本かな子

さん（日野高CC） 3位 藤

谷早苗さん（米子CC）



「泥どろになります」と宣誓



豪快に飛び込んで「セーフ」



訪れた観客は、選手の珍プレーに大笑い

田んぼの中で 大はしゃぎ

津地地区で恒例の泥リンピック・キックベースボール大会

津地地区のジゲおこしの催し、泥リンピック・キックベースボール大会（津地公民館主催）が、4月29日、津地内の水田で開かれました。今年で10回目を飾る大会には、県内外から7チーム（約70人）が参加。田植え前の水を張った田んぼの中で、泥しぶきを上げながらキックベースボールや障害物リレーなどの競技を楽しみました。



各チーム、ユニークな服装で参加

選手は、ぬかるんだ田んぼに足をとられ転倒したり、豪快に飛び込んだりとハツスルプレーや珍プレーが続出。観客の笑いを誘っていました。



ホームランをねらってボールをけり飛ばす



全身泥まみれの障害物リレー



監督を胴上げ。その後は田んぼのへ



水を張った田んぼの中で思いっきり遊ぶ

みんなのひろば

ルールを守って安全運転

新見千屋で交通安全県境テント村開設

交通安全の意識を高めようと、5月5日、交通安全県境テント村が、新見千屋温泉入口で開設され、ドライバーに

安全運転を呼びかけました。この日は、鳥取・岡山県の関係者70人が参加し、行楽に出かける通行車両に手作りのマスコットやチラシなどを配りました。



通行車両に交通安全を呼びかける

参加者は、交通ルールを守って安全運転をしてくださいと呼びかけていました。テント村は、県交通安全協会黒坂地区協会と新見交通安全協会千屋支部が、交通安全を願って春と秋に岡山県側と鳥取県側(明地峠)で交互に開設しています。



1年間学ぶ気持ちを誓う学園生

いつまでも

学ぶ気持ちで

おしどり学園が開講

生涯学習の推進とお互いの親睦を図ろうと、4月18日、おしどり学園の開講式が、町公民館で開かれました。

開講式では、学園生を代表して赤木政男さん(下黒坂)が「いろいろ学びながら健康で楽しい1年を過ごしましょう」とあいさつ。その後、桜が満開の滝山公園で食事をしながら親睦を図りました。

今年の学園生は94人。生活・現代課題などをテーマに学ぶ一般教養と生花・園芸・料理・グラウンドゴルフなど六つの各専門グループに分かれ、知識を深めていきます。同学園は、町内65歳以上の人を対象に年間10回開かれる予定になっています。

着物がすてきな洋服に変身

町公民館で和服リフォームファッションショー

タンスなどに眠っている和服を洋服に仕立て直した作品を発表しようと、4月15日、和服リフォームファッションショーが、町公民館で開かれました。

同公民館で活動しているリフォーム教室の会員らが、自分たちで和服から洋服に仕立て直した作品を披露。米子市や淀江町で活動しているグループの協力を得て、ファッションショーを開きました。

舞台の上を歩きながら、特徴、素材などを紹介していました。リフォーム教室の講師、金田千恵子さん(中菅)は「これからもこのような催しを開き、今デザインしている服を発表したいです」と抱負を述べていました。

会員らがモデルになり、一人ずつ、和服からワンピースやコート、スーツなどの洋服に仕立て直した作品を着て、

会場には、約120人が訪れ「着れなくなった服が生まれ変わって感激した」「自分もぜひ作ってみたい」などと話し、モデルが登場する度に大きな拍手を送っていました。

リフォーム教室は、今年1月に開講し、金田さんを講師に会員6人で活動しています。



衣装を着替え作品を披露する会員ら

根雨スポーツ少年団が準優勝

郡少年野球日野町大会

第26回日野郡少年野球日野町大会が、4月29日、5月4日、日野中学校・根雨小学校グラウンドで開かれました。

大会は、郡内の7チームが参加。トーナメント方式で2日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

地元の根雨スポーツ少年団は、1回戦福栄スポ少(日南)に10-0、2回戦山ノ上スポ少(日南)に11-1で勝ち決勝に進出。決勝は、攻守にわたり好プレーが続出する白熱した試合になりましたが、石見スポ少に4-11で惜しくも敗れ、準優勝でした。



白熱した試合が繰り広げられる



準優勝した根雨スポーツ少年団の選手たち

試合終了後には、両チームの健闘を称え大きな拍手が送られました。

アユさん元気で大きくなってね

保育所園児が稚アユ放流

6月のアユ漁解禁に向けて、4月24日、25日、町内保育所の園児が、稚アユを日野川に放流しました。

子どもたちに川に親しんでもらおうと、24日、野田橋上流で、根雨水産組合(生田正明会長)が計画し、根雨・日野保育所の園児が参加。25日は、黒坂カワコふれあい公園で、黒坂水産振興組合(頭本尚憲会長)が計画し、黒坂保育所の園児が参加して稚アユを放流しました。

園児たちは「元気に大きくなってね」と元気に泳ぐアユに呼びかけていました。

放流されたアユは体長12センチ程度で、6月の解禁を迎えるころには、約16センチくらいまで成長します。



アユを放流する園児たち

日ごろの学習成果を生かす

大好評の日野高校チャレンジショップが開店

日野高校の生徒たちが日ごろの学習成果を生かそうと、高校生チャレンジショップを、5月10日、根雨宿一番館に開店させました。

生徒たちが学校で栽培したトマトやキャベツなどの野菜、豆腐、こんにゃく、花の苗などを安価で提供。開店時間前には、地元の人々が店に詰めかけ、長い行列ができるほどの盛況ぶりでした。

商品は、開店と同時に飛ぶように売れ、訪れた客は両手に野菜や花を抱えていました。店頭に立った高校生は、詰



開店と同時に多くの人が詰めかける



花の苗のコーナーも大好評

めかけた人の多さにとまどっていました。手際よく笑顔で接客していました。

同ショップは、昨年の6月に、まちづくり日野の協力を得て、根雨宿一番館に出店。

総合学科の特徴を生かし、アグリライフ系列の生徒が野菜などを栽培、情報・ビジネス系列がマーケティングや接客などの学習をしています。

今年は、毎月第2土曜日に店を開き、野菜、花の苗、農産加工品などを販売する予定になっています。

土砂災害から守ろう みんなの地域

日ごろの備えが大切です

日本の年間降水量は約1,800^{ミリ}で、世界平均の2倍になります。特に梅雨期や台風時には局地的な集中豪雨が発生しやすく、洪水や土砂災害などによる大きな被害をもたらします。

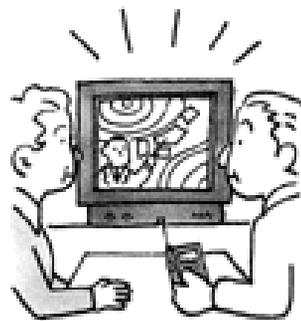
日ごろから、家の周りや地域の危険箇所を確認し、家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。



注意報・警報に注意 気象情報の確認を

テレビ、ラジオ、防災行政無線などで伝えられる注意報や警報に注意し、さらに台風や豪雨など気象の変化に日ごろから関心を持つようにしましょう。

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20^{ミリ}以上、または降り始めから100^{ミリ}以上になったら要注意です。



地域の危険箇所を 確認しましょう

大雨や台風があつた時、自宅の周辺は安全ですか。近くの川も洪水やがけ崩れなどの危険はありませんか。家の周りや近所を見回して、危険な所はないか、確認しておきましょう。

危険区域図は、日野総合事

務所県土整備局や役場で確認することが出来ます。

避難場所や 避難方法を話し合おう

災害の備えについて家族や地域で話し合ったり、防災訓練をしたりするなど、日ごろの防災活動が大切です。また、あらかじめ、地域の避難場所や安全な避難路を家族みんなで確認し合っておきましょう。高齢者や子ども、体の不自由な人がいる場合は、地域の人たちが手伝って避難活動を行えるよう、日ごろからの協力体制を築いておくことも必要です。



緊急時の 必需品を用意

非常用の飲料水、食料、持ち出し品（懐中電灯・ラジオ・衣類など）を、常に家庭に用意しておきましょう。

災害が起きる前には 危険信号が

土砂災害などが起きる場合には、次のような危険信号と思われる変化が現れます。
地すべり

沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れが出る
斜面から水がふき出す
家や樹木、電柱が傾く
がけ崩れ

がけに割れ目が見える
がけから水がわき出る
がけから小石が「ばらばら」と落ちてくる
がけから木の根が切れるなどの音がする

土石流
山鳴りがする
急に川の流れが濁り、流木が混ざる

雨が降り続けているのに川の水位が下がる
腐った土の臭いがする
**危険を確認したら
すぐに連絡を**

危険信号を確認したらずくに連絡しましょう。

連絡先

鳥取県日野総合事務所県土整備局（電話72 0321）
又は役場（電話72 0331）

おしらせ

さつきまつり

6月5日～6月7日

第31回町さつきまつりを開きます。ご来場者には抽選でサツキや山野草のプレゼントもあります。

【とき】

6月5日(木)～7日(土)
5日 午前10時～午後6時
6日 午前8時30分～午後6時
7日 午前8時30分～午後3時

【ところ】

山村開発センター

【出品申し込み】

出品していただくサツキを募集しています。5月31日(土)までに長尾忠治さん(黒坂)へ(電話74 0302)

日野川清流王友釣大会

6月15日

アユ釣師が腕を競い合う、日野川清流王友釣大会を日野川で開きます。

【とき】

6月15日(日)
午前6時から受付開始

【ところ】

日野川(リバーサイドひの周辺)

【参加資格】

年齢制限なし

【競技方法・競技規定】

制限時間内での各個人合計尾数(予選上位10人が順位決定戦に進出)。釣法は友釣り。

【参加料】

2000円

(交通費、入漁料は各自で負担)

【募集人員】

150人

(応募多数の場合は抽選)

【申し込み方法】

申し込み用紙に必要事項を記入の上、町内釣具店又は役場農林課に申し込みください。

【申し込み期限】

5月30日(金)まで

【問い合わせ先】

役場農林課
(電話72 2102)

6月1日は

人権擁護委員の日

全国人権擁護委員連合会では、6月1日を「人権擁護委員の日」と定めています。すべての人々の人権が尊重される社会を目指し、一人ひとりが人権について考えましょう。

鵜の池マラソン大会参加者募集

標高400mの鵜の池湖畔で、第26回中国山地日野鵜の池マラソン大会を開きます。

とき 7月27日(日)雨天決行

ところ 鵜の池湖畔

受付 午前9時～午前9時30分

スタート 午前10時30分～

参加料 一般 2,000円
高校生以下 1,000円
Sクラス 500円

申し込み方法 申し込み用紙に参加料を添えて教育委員会又は町公民館に申し込みください。
用紙・大会要項は、教育委員会・町公民館・図書館にあります。

申し込み期限 6月20日(金)

募集定員 1,000人(定員になり次第締め切り)

その他 Sクラスの当日受付の参加料は無料ですが、参加賞はありません。

クラス	区分	距離	クラス	区分	距離
A	小学生女子 (4年生以上)	2.3 ^{km}	H	小学生男子 (4年生以上)	2.3 ^{km}
B	中学生女子	2.3 ^{km}	I	中学生男子	4.6 ^{km}
C	高校生女子	2.3 ^{km}	J	高校生男子	6.9 ^{km}
D	40歳代女子	2.3 ^{km}	K	29歳以下男子	6.9 ^{km}
E	50歳代女子	2.3 ^{km}	L	39歳以下男子	6.9 ^{km}
F	60歳以上女子	2.3 ^{km}	M	49歳以下男子	6.9 ^{km}
G	年齢制限なし	4.6 ^{km}	N	59歳以下男子	6.9 ^{km}
			O	69歳以下男子	4.6 ^{km}
			P	70歳以上男子	4.6 ^{km}
S	男女フリー	2.3 ^{km}	だれでも参加できます(順位なし)		

【問い合わせ先】 役場教育委員会内鵜の池マラソン大会実行委員会(電話72-2107)

春の

図書館まつり

6/15～6/29
(日) (日)

春の「図書館まつり」を開きます。期間中は、さまざまな催しがあるほか、古雑誌のお持ち帰りコーナーや野外読書コーナーもあります。ぜひお出かけください。

6/15
(日)

竹でおもちゃを作ろう

講師に松本節哉さん(本郷)を迎え「ぶんぶんごま」「竹トンボ」などを作ります。(協力/木のおもちゃづくりの会)
午前10時～午後3時 図書館車庫

6/16
(月)

布えほん作り

開いて遊ぶ「はなびら遊び」を作ります。出来上がった作品は、保育所などで紹介します。
午後1時～午後3時 カルチャールーム

6/20
(金)

絵てがみ教室

季節の草花などを書いて見ませんか。初心者の方大歓迎です。
講師 川上晋次郎さん(本郷) 材料費100円
午後1時30分～午後3時 カルチャールーム

6/22
(日)

だくちるおはなし会

昔話や絵本の読み聞かせパネルシアターなど。
ゲスト:おはなしグループ「だくちる」
午前10時30分～

6/28
(土)

ポプリの小物づくり

講師に田口幸代さん(鳥取市)を迎え、ハーブの香りの人形などを作ります。材料費500円～1,000円
午後1時30分～ 図書館車庫



第7回 日野川音楽祭にどうぞ

日野川沿いに住む音楽愛好グループの手作り音楽祭。クラシック・合唱・邦楽・フォーク・マジックショーなど多彩です。

とき 6月29日(日)午後1時開演

チケット 500円

主催 日野川音楽祭実行委員会

問い合わせ先 木嶋泰さん(電話 72-0110)

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

図書館情報

カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

○印が休館日です

おしらせ

- 図書館まつり期間中 -
古雑誌の
お持ち帰りコーナー
・1人1タイトル2冊まで、無料
でお持ち帰りできます。

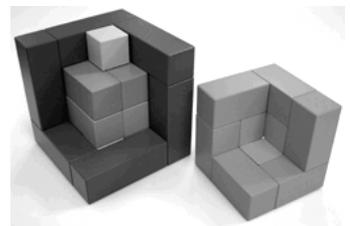
野外読書コーナー

・コーヒー100円
午前10時～午後4時
(協力/図書館友の会)

展示コーナー

世界の木のおもちゃ展

6月1日～6月29日



インターネットで蔵書検索をどうぞ

http://aspcpcenter.infosakyu.ne.jp/llis/top.htm

6月 暮らしのカレンダー

JUNE (水無月)



1 日	
2 月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 固定資産税 1 期分納期限 ----- 健康相談 町公民館 午前 9 時～午前 10 時
3 火	乳児相談・離乳食講習会 開発センター
4 水	発泡・蛍光管の収集日(1 班) ----- 基本・結核・肺がん検診 金持公民館・板井原公民館・奥渡公民館
5 木	発泡・蛍光管の収集日(2 班) ----- 人権相談 開発センター 午後 1 時～午後 3 時 ----- 心配ごと相談・高齢者生活相談 開発センター・ 老人福祉センター 午前 9 時～午後 3 時 ----- 年金相談 役場 午前 10 時～午後 2 時 ----- さつきまつり 開発センター (7 日まで)
6 金	発泡・蛍光管の収集日(3 班) ----- 子宮がん検診 日野病院
7 土	
8 日	開発センター休館日
9 月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区)
10 火	すくすく親子教室 日野保育所 午前 9 時 30 分～午前 11 時
11 水	発泡・蛍光管の収集日(4 班)
12 木	発泡・蛍光管の収集日(5 班) ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所
13 金	発泡・蛍光管の収集日(6 班)
14 土	

15 日	日野川清流王友釣大会 日野川 (リバーサイドひの付近) 午前 7 時～競技開始 ----- 木のおもちゃづくり 図書館車庫 午前 10 時～ 竹で作るおもちゃ(講師・松本節哉さん)
16 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区) ----- 基本・結核・肺がん検診 久住集会所・町公民館
17 火	可燃粗大ゴミの収集(黒坂・菅福地区) ----- 基本・結核・肺がん検診 菅福公会堂・町公民館
18 水	発泡・蛍光管の収集日(7 班) ----- 胃がん検診 開発センター
19 木	発泡・蛍光管の収集日(8 班) ----- 胃がん検診 開発センター
20 金	発泡・蛍光管の収集日(9 班)
21 土	行政相談 開発センター 午前 9 時～午前 12 時
22 日	開発センター休館日
23 月	古紙の収集日(根雨・日野地区) ----- 健康相談 開発センター 午前 9 時～午前 10 時
24 火	可燃粗大ゴミの収集日(根雨・日野地区) ----- 1 歳 6 か月・2 歳児健診 開発センター
25 水	
26 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
27 金	
28 土	
29 日	日野川音楽祭 文化センター 午後 1 時開演
30 月	町県民税 1 期分納期限

直 通 電 話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	日野保育所	72 1133

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下櫃集会所	72 1191
黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331

新緑の宝仏山を満喫

登山道開きに40人が参加

新緑の季節を迎えた、4月29日(みどりの日)、昨年、国立公園に編入された宝仏山(標高1005m)の山開きが、同山で開かれました。山開きには、県内外から約40人が参加。初めに登山道入口の町歴史民俗資料館前に集まり、登山前の安全を祈願をしました。

神事の後、高低差800m、約3kmの杉、クヌギ、ブナの林を通り抜け、約2時間半かけて山頂まで登りました。参加者は、すがすがしい新緑の中でゆっくりできてうれしいなどと言いながら、鳥のさえずりに耳を澄まし、植物な

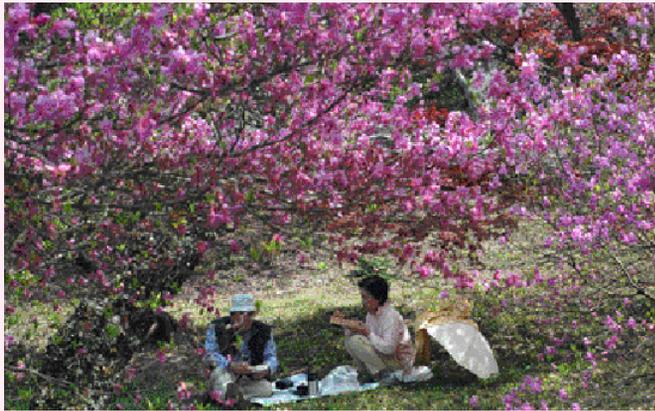


自然を楽しみながら山に登る参加者

どを観察。自分のペースで歩きながら、手付かずの自然と頂上の大パノラマを満喫していました。

公園内はピンク色

ツツジ祭りでにぎわう滝山公園



満開のツツジの下で昼食をとる花見客

桜・ツツジの名所で知られる奥日野県立自然公園「滝山公園」で、4月19日から5月5日まで、ツツジ祭りが開かれ、花見客でにぎわいました。公園内にある約3万本のダイセンミツバツツジの開花は、例年よ



鮮やかなピンク色に咲くツツジ

りやや早く、4月25日には満開になりました。この時期は、遅咲きの八重桜も満開で、鮮やかなピンク色の競演に花見客もうっとりしていました。

オシドリ

ぼく大きいでしょ

静かな夕暮れ時、北に帰らなかったオシドリ数羽、仲良く寄り添っていました。オスは胸をふくらませてその存在をアピールしています。自然界で生き延びるための知恵でしょう。この美しさとたくましさに脱帽です。

来月になるとヒナ誕生のニュースが聞かれるかもしれませんが。皆様からの情報をお待ちしています。

連絡先 オシドリグループ 事務局 森田(72-0271)



写真きれいでしょ。大きいでしょ。かっこいいでしょ。」

わたしの町

4月末日現在

(前月比)

人口	4,481人 (-9)
男性	2,117人 (-5)
女性	2,364人 (-4)
世帯数	1,569戸 (+2)

赤ちゃん誕生

(4月11日~5月10日)

おめでとございませす

(出生児) (保護者) (性別)(住所)

4月	水谷 梨湖	修・美鈴	女の子	野田
5月	野々村佳歩	完三・亜紀	男の子	根雨
	野々村陸久	完三・亜紀	男の子	根雨
	櫃田 流空	昌彦・亜季	男の子	野田

おくやみ (4月11日~5月10日)

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)

4月	中澤 晃	80歳	上菅
5月	代高田吉次	68歳	中菅
	上田 朝尾	86歳	福長

編集後記 わかとり作業所日野分場のみなさん、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。実際に見て、声を聞き、みなさんのがんばりにたくさんの方の元気をもらいました。地域のみなさんませひ「わかとり作業所」へ。